

安全データシート

1. 会社情報

会社名 株式会社 MonotaRO
所在地 〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町 2-183 リベル 3 階
担当者名 商品お問合せ窓口
電話番号 0120-443-509
FAX 番号 0120-289-888
緊急連絡先 所在地と同じ
整理番号 M181120
作成日 2018 年 11 月 20 日

2. 製品名 モノタロウ 表面保護テープ

3. 組成、成分情報

成分	CAS 番号	wt%
低密度ポリエチレン	9002-88-4	96.15%
アクリル共重合体	35239-19-1	3.54%
酢酸エチル	141-78-6	0.1%以下
その他	-	0.3%

4. 危険有害性の要約

- ◎物理的有害性 ー通常状況下で危険有害性はないが、燃焼中に有害ガスが出る可能性がある。
- ◎健康への有害性 ー通常状況下で危険有害性はないが、燃焼中に有害ガスが出る可能性がある。
- ◎環境への有害性 ー通常状況下で影響はないが、燃焼による大気汚染及び埋立てによる土壌汚染の可能性はある。

5. 有害性及び危険性に関する情報

- ◎緊急時の危険ー報告なし
 - ー物理的危険：データなし
- ◎眼への影響ー短時間暴露：僅かな刺激
 - ー長時間暴露：報告なし
- ◎皮膚への影響ー短時間暴露：僅かな刺激

－長時間暴露：報告なし

◎吸入した場合の影響－該当なし

◎飲み込んだ場合の影響－該当なし

◎医師への注記事項－該当なし

6. 応急措置

◎眼に入った場合－水で優しく洗う。

－眼の刺激が続く場合、医師の診察を受ける。

◎皮膚に付着した場合－水で優しく洗う。

－皮膚を刺激する場合、医師の診察を受ける。

－物質に触れた場合、直ちに流水で皮膚を洗う。

◎吸入した場合－新鮮な空気のところへ移す。

－悪影響が続く場合、医師の診察を受ける。

◎飲み込んだ場合－直ちに嘔吐させる。

－多量の場合、医師に助言を求める。

7. 火災時の措置

◎消火方法

－粉末消火薬剤または多量の水を使用する。

－危険がなければ容器を火災現場から移動させる。

－現場から離れ、安全な距離を保って消火する。

－水噴霧で火に曝された容器を冷やす。

－呼吸装置を使わない。

◎適切な消火剤

－大火災の場合、粉末消火薬剤または泡を使用する。

－小火災の場合、CO₂または粉末消火薬剤を使用する

－水で火に曝された容器を冷やす。

－ミスト、細かな水噴霧、二酸化炭素

◎不適切な消火剤

－水噴射。消火剤が容器の内容物に触れないようにする。

8. 暴露防止

◎人体保護具

－滑ったり、粘着部が足に付着したりしないようにフィルムを元に戻す。

◎清掃または除去方法

－分散した部品を適切な場所に回収する。

9. 取扱い及び保管上の注意

◎取扱上の注意

- －静電気が起きないように予防措置を講じる。
- －皮膚への長時間接触を避ける。
- －重い材料の場合リフトを使用する。
- －取扱い/保管に特に注意を払う。
- －梱包や貼り付けの場合保護手袋を使用する。
- －不必要な包装材と紙管を速やかに処理する。

◎保管条件

- －容器を密閉し、UV、熱、火花及び炎から遠ざけ乾燥状態で保管する。

10. 暴露防止及び保護措置

- ◎生物学的暴露制限－分類なし
- ◎暴露限界－分類なし
- ◎設備対策－規定なし
- ◎人体保護具－必要であれば手袋を使用する

11. 物理的および化学的性質

- ◎外観－フィルム面に接着剤塗装したロール
- ◎臭い－かすかな有機アクリル臭
- ◎PH－110～125℃
- ◎比重－0.91～0.925 (g/cm³)
- ◎水への溶解性－水に溶けない
- ◎可燃性－データなし
- ◎爆発性－自然爆発温度 349℃
- ◎酸化－なし
- ◎分配係数－なし

12. 安定性及び反応性

- ◎化学的安定性－常温と常圧で安定している
- ◎避けるべき材料－熱、炎、火花及び他の可燃性物質

13. 有害性情報 ■規制法：分類なし

- ◎急性経口毒性－データなし
- ◎急性毒性－データなし
- ◎慢性毒性－データなし
- ◎生殖毒性－データなし
- ◎がん原生－指定なし
- ◎特異性－データなし

14. 環境影響情報

- ◎溶解性－長期間に渡って溶けない
- ◎土壌内移動性－データなし
- ◎追加環境情報－データなし

15. 廃棄上の注意

- ◎製品の廃棄－地域の規則に従って廃棄する
- ◎廃棄方法－地域の規則に従う
- ◎廃棄上の注意－地域の規則に従う

16. 輸送上の注意

- ◎UN 番号－規制なし
- ◎輸送上の注意－湿気や不十分な梱包を避ける
- ◎その他の国際輸送規則：規制なし

17. 規制情報

- ◎労働安全衛生法－規制なし
- ◎有害化学物質規制法－指定許容内
- ◎廃棄物管理法及び清掃に関する法律－産業廃棄物及び可塑性物質に指定されている
- ◎有害化学物質管理法－規制なし

18. その他の情報

◎本書の内容は利用可能な情報、データ及び当社の情報源に基づいていますが、化学物質含有量、特性、危険有害性などについて保証するものではありません。注意事項は通常状況に基づくもので、特殊条件で使用したい場合、安全条件を整えた上で使用してください。手を加えて材料を修正してください。